

有明工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	現代社会 I	
科目基礎情報							
科目番号	2Z007			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	教科書：『倫理』（東京書籍）／資料集：『テオリア最新倫理資料集（新版三訂）』（第一学習社）						
担当教員	山口 英一						
到達目標							
1.青年期における自己形成の課題について，基本的語句の意味を説明できる。 2.現代社会に新たに登場した倫理的課題について，基本的用語を説明できる。 3.先哲の考え方を理解し，それに関わる基本的な用語の意味を指摘できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安	
評価項目1	青年期における自己形 成の課題について，基 本的語句の意味を理解し体系的な説明がで きる。			青年期における自己形 成の課題について，基 本的語句の意味を不十分ながら説明できる。		青年期における自己 形成の課題について， 基本的語句の意味を 説明できない。	
評価項目2	現代社会に新たに登場 した倫理的課題について，それらの事項を説明できる。			現代社会に新たに登場 した倫理的課題について，基本的用語を不十分ながら説明できる。		現代社会に新たに登 場した倫理的課題について，基本的用語を 説明できない。	
評価項目3	先哲の考え方を理解 し，それに関わる基本 的な用語の意味を説明 で きる。			先哲の考え方を理解 し，それに関わる基本 的な用語を指摘できる。		先哲の考え方を理解 できず それに関わる 基本的な用語を指摘 できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-2							
教育方法等							
概要	前期は，青年期の心理と現代社会に関する諸問題について学びます。また後期の哲学思想については，重要な思想家とその考え方について，基本的な説明ができる能力を評価します。これらの学習を通して，自分たちを取り巻く社会を多面的に考え，善悪を判断することの重要性を学んで下さい。						
授業の進め方・方法	授業は基本的に教科書の単元に沿った A4 版のプリントを配布し，それを 中心に進めます。プリントを左ページに張り，右ページには追加項目をノート してもらう形式です。資料集に加えて，追加の補足資料もプリントで配布します。皆さんはく A4 版>のノートを準備してください。プロジェクタを使って説明する時に教科書，資料を参照してもらえば，説明と同じスピードで理解を進められます。						
注意点	話を聞く能力、それを自分で書き留める能力はすべての学習の基本です。また毎回の授業を通じて「ノートを取る」 能力を身につけて下さい。 教科書・資料集・プリントを利用して予習・復習が可能です。理解を深めるために目を通しておきましょう。授業のあとでノートを整理する作業をすることで理解が定着します。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	導入	科目の特徴と学習内容について理解できる			
		2週	青年期の課題と生き方1	生涯における青年期の位置づけを理解できる			
		3週	青年期の課題と生き方2	青年期の「こころ」と「体」についての特徴を理解できる			
		4週	青年期の課題と生き方3	青年期の心理的特徴に関する用語を理解できる			
		5週	青年期の課題と生き方4	青年期の発達課題について理解できる			
		6週	青年期の課題と生き方5	自己実現の持つ意義を理解できる			
		7週	青年期の課題と生き方6	生涯における「生きがい」の意義を理解できる			
		8週	中間試験	これまでの学習をふまえ，到達目標を達成できているか，確認できる。			
	2ndQ	9週	現代の課題を考える1	科学技術の進歩と生命の問題について基本語句を理解できる			
		10週	現代の課題を考える2	科学技術の進歩と生命の問題について基本語句を理解できる			
		11週	現代の課題を考える3	生命倫理について基本語句を理解できる			
		12週	現代の課題を考える3	現代の家族を巡る問題について基本語句を理解できる			
		13週	現代の課題を考える4	グローバル社会における文化の多様性に関わる基本語句を理解できる			
		14週	現代の課題を考える5	情報社会について基本語句を理解できる			
		15週	期末試験	これまでの学習をふまえ，到達目標を達成できているか，確認できる。			
		16週	前期のまとめ	これまでの学習をふまえ，到達目標を達成できているか，確認できる。			
後期	3rdQ	1週	古代ギリシャ1	古代ギリシャ思想の発展と思想家たちの名前と考え方を大まかに理解できる			
		2週	古代ギリシャ2	ソクラテス，プラトンの思想の基本的事項を理解できる			
		3週	古代ギリシャ3	アリストテレス，ヘレニズムの思想の基本的事項を理解できる			

		4週	ユダヤ教とキリスト教	ユダヤ教の基本的考え方とイエスの考え方の対比を理解できる
		5週	キリスト教の思想の発展1	キリスト教の歴史的発展のうち教父哲学成立までの基本的事項を理解できる
		6週	キリスト教思想の発展2	キリスト教の歴史的発展のうちスコラ哲学の基本的事項を理解できる
		7週	イスラーム	イスラームの成立と基本語句について理解できる
		8週	中間試験	これまでの学習をふまえ、到達目標を達成できているか、確認できる。
	4thQ	9週	仏教以前のインド思想	バラモン教聖典のヴェーダ、ウパニシャッドに見られる思想的特徴を理解できる
		10週	ブッダの思想1	仏教の成立と基本的教義について基本事項を理解できる
		11週	ブッダの思想2	仏教の歴史的発展について基本事項を理解できる
		12週	古代中国思想1	儒家思想について基本事項を理解できる
		13週	古代中国思想2	老荘思想について基本事項を理解できる
		14週	経験論と合理論	ヨーロッパ近代の思想について基本事項を理解できる
		15週	期末試験	これまでの学習をふまえ、到達目標を達成できているか、確認できる。
		16週	後期のまとめ	これまでの学習をふまえ、到達目標を達成できているか、確認できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	前13,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前16
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	2	前9,前10,前11,前12,前14,前16
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	1	
			技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	1	
		グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前13,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前13,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0